

第 408 回  
日本泌尿器科学会新潟地方会  
《 プログラム・抄録 》

日 時：令和 6 年 3 月 16 日（土）15 時 00 分～17 時 00 分  
会 場：新潟グランドホテル 5 階『常盤』  
新潟市中央区下大川前通  
TEL：025-228-6111

次回 第 409 回 新潟地方会  
（甲信越合同地方会） 予告  
日時：令和 6 年 5 月 25 日（土）  
会場：（予定）甲府市  
演題申込期限：令和 6 年 5 月 2 日（木曜日）

※すべて PC のみの発表とさせていただきます  
※一般口演時間は、7 分、討論 3 分（時間厳守）

日本泌尿器科学会会員証を必ずご持参下さい

〒951-8510 新潟市中央区旭町通 1-757  
新潟大学大学院腎泌尿器病態学分野(泌尿器科学教室)内  
日本泌尿器科学会新潟地方会  
TEL：025 (227) 2289/FAX：025 (227) 0784  
会長 富田 善彦

15:00~15:05

開会の辞

日本泌尿器科学会新潟地方会会長

富田 善彦

15:05~15:45

座長 鳥羽 智貴

1. 全身 MRI は前立腺癌骨転移の発見に寄与したか

長岡赤十字病院 泌尿器科<sup>1)</sup>、放射線診断科<sup>2)</sup>、病理診断部<sup>3)</sup>  
西山紘貴<sup>1)</sup>、山口峻介<sup>1)</sup>、鈴木一也<sup>1)</sup>、米山健志<sup>1)</sup>、谷由子<sup>2)</sup>、薄田浩幸<sup>3)</sup>

前立腺癌骨転移の検出のための検査として全身 MRI は 2020 年より保険収載されている。全身 MRI は骨シンチグラフィよりも感度・特異度ともに高いが、検査時間が長く、他の検査時間を圧迫するという問題点がある。当院では 2020 年 6 月より前立腺癌に対する全身 MRI を開始し、骨少数転移の可能性が高いと思われる症例では全身 MRI を施行し、その他の症例では骨シンチグラフィを施行してきた。2020 年から 2023 年に前立腺癌と診断された 456 例のうち 139 例に全身 MRI を施行し、骨転移は 18 症例であり、そのうち骨少数転移は 8 症例だった。2020 年以前の骨転移症例数と比較しながら、当院における今後の全身 MRI の運用方法の検討を報告する。

2. 当院の前立腺癌根治放射線外照射療法の現状

新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院 泌尿器科<sup>1)</sup>、放射線治療科<sup>2)</sup>  
石田恭平<sup>1)</sup>、川口弦<sup>2)</sup>、原昇<sup>1)</sup>、西山勉<sup>1)</sup>

前立腺癌の根治放射線外照射療法は IMRT や SBRT となってきたが、当院は施設基準の関係で 3D-CRT による放射線治療を行っている。ガイドライン上、3D-CRT の場合 70~72Gy、IMRT の場合には 74~78Gy とされているが、当院では開院当時から 3D-CRT としてはやや多い 74Gy を採用してきた。しかし、直腸への照射線量がやや多く、直腸への照射線量の低減が課題であった。最近、直腸前立腺間にハイドロゲルスペースャー (SpaceOAR システム) を挿入し、直腸への照射線量低減を試み、前立腺照射量を 76Gy まで増加させている。また前立腺内金マァカー挿入により照射時間の低減も試みている。

3. ペンブロリズマブ投与後に血小板減少をきたした一例

新潟市民病院 泌尿器科<sup>1)</sup>、血液内科<sup>2)</sup>、病理診断科<sup>3)</sup>  
池田多朗<sup>1)</sup>、阿部崇<sup>2)</sup>、橋立英樹<sup>3)</sup>、笠原隆<sup>1)</sup>、今井智之<sup>1)</sup>、川上芳明<sup>1)</sup>

症例は 80 歳男性。膀胱癌に対して TURBT 後、右尿管癌に対して腎尿管全摘後、BCG 膀胱注入を行った。経過中のリンパ節転移に対してゲムシタピン、カルボプラチンを 4 コース投与した。その後も進行を認めたため次治療としてペンブロリズマブを開始した。投与開始から 2 カ月経過後に食欲不振で入院となり、その際に血小板 3.1 万と低値を認めた。その後も血小板は減少を続け最低 0.9 万まで減少、DIC を併発し点状出血や紫斑を認めた。血液内科併科診でステロイド投与、ナファモスタットによる抗凝固を行ったが全身状態は改善せず 28 病日で永眠された。irAE における血液障害は比較的頻度が低いが高篤となり得る。本症例につき文献的考察を含めて報告する。

4. 代用膀胱に生じた超巨大結石の 1 例

新潟大学医歯学総合病院 泌尿器科<sup>1)</sup>、消化器・一般外科<sup>2)</sup>  
晝間楓<sup>1)</sup>、白野侑子<sup>1)</sup>、池田正博<sup>1)</sup>、武田啓介<sup>1)</sup>、安楽力<sup>1)</sup>、田崎正行<sup>1)</sup>、齋藤和英<sup>1)</sup>、島田能史<sup>2)</sup>、若井俊文<sup>2)</sup>、富田善彦<sup>1)</sup>

症例は 56 歳男性。26 年前に、筋層浸潤膀胱癌に対する膀胱全摘除術および自排尿型代用膀胱増設術を施行された。術後数年で通院を中断した。今回、腹痛を主訴に近医を受診し、代用膀胱内に長径 21.6cm の巨大結石を指摘された。開腹膀胱結石摘出術を施行し、重量 5 kg の結石を摘出した。結石分析結果は、リン酸アンモニウムマグネシウム 79%、リン酸カルシウム 21%であった。代用膀胱に生じる結石は稀ではあるものの、重要な晩期合併症の 1 つである。結石が出来る原因や、結石発生時の治療留意点について検討する。

15 : 45~16 : 15

座長 ビリーム ウラジミル

Short lecture

1. MicroRNAs as Potential Regulators of GSK-3 $\beta$  in Renal Cell Carcinoma

(Curr Issues Mol Biol. 2023 Sep 11;45(9):7432-7448. doi: 10.3390/cimb45090470.)

Department of Urology, Division of Molecular Oncology, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University

Masaki Murata, Vladimir Bilim, Yuko Shirono, Akira Kazama, Kaede Hiruma, Masayuki Tasaki and Yoshihiko Tomita.

2. Targeting pro-survival autophagy enhanced GSK-3 $\beta$  inhibition-induced apoptosis and retarded proliferation in bladder cancer cells.

(Curr Oncol. 2023 May 28;30(6):5350-5365. doi: 10.3390/curroncol30060406.)

Department of Urology, Division of Molecular Oncology, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University

Yuko Shirono, Vladimir Bilim, Tsutomu Anraku, Hiroo Kuroki, Akira Kazama, Masaki Murata, Kaede Hiruma and Yoshihiko Tomita.

《 休 憩 16 : 15~16 : 35 》

16 : 35~17 : 00 日本泌尿器科学会新潟地方会総会

# 第38回新潟泌尿器腫瘍セミナー

日時

2024年3月16日（土）17:15～18:15

会場

新潟グランドホテル 5階『常磐』  
新潟市中央区下大川前通3ノ町2230番地  
TEL:025-228-6111

座長

富田 善彦 先生

新潟大学特命理事 医歯学総合病院長（泌尿器科教授）

【特別講演】17:15～18:15

演者

釜井 隆男 先生

獨協医科大学病院 泌尿器科 主任教授

## 『腎癌治療の現状と展望』

- ・当日は会終了後に情報交換会の場を設けております。
- ・参加費として1,000円徴収させていただきます
- ・本セミナーは日本泌尿器科学会専門医制度（1単位）が認められております
- ・本セミナーは地方会開催期間中のため、一般参加者の交通手配は行えません。ご了承ください。

共催 新潟泌尿器腫瘍セミナー

小野薬品工業株式会社 ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

## 【地方会受付時にご提出をお願いします。】

今回（第 408 回新潟地方会）、諸事情により、QR コードでの受付ができません。

こちらの用紙に、「**JUA 会員番号**」「**氏名**」をご記入いただき、**地方会の受付時にご提出**をお願いいたします。

お手数をお掛けいたしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

JUA 会員番号：

---

氏名：

---

ご協力、ありがとうございました。

# 研究会参加者健康チェック票

研究会名：第408回日本泌尿器科学会新潟地方会

日 時：2024年3月16日（土） 15:00～

所 属：\_\_\_\_\_

氏 名：\_\_\_\_\_

自宅電話番号：\_\_\_\_\_

※開催日より過去3日間、発熱などの症状はありましたか？ → あり ・ なし

ありの場合、下記にご記入ください。

なしの場合、○の記入のみで構いません。

	チェック日	体温 (°C)	症 状※								
		朝	咳	のどの 痛み	鼻水・ 鼻詰り	頭痛	下痢・ 腹痛	強い だるさ	息苦しさ	その他	左記 すべて無
1日目	3月14日										
2日目	3月15日										
3日目	3月16日										

自ら行った対処{ \_\_\_\_\_ }

(例) ○月○日医療機関を受診した, ○月○日に保健所に連絡した, ○月○日市販薬を内服した, などを記入

※ 症状の各項目に, ある場合は○, すべて該当しない場合には「左記すべて無」に○を付けてください。